

2001年7月 とらばーゆ 7月25日号

クラブ「とらばーゆ」

## ワタシの上司を 紹介しまーす

今週の上司

### 山根麻貴さん(26歳)

株ガイアックス  
取締役副社長

やまね・まき ● 1974年12月生まれ、射手座、O型、広島県出身。自宅からオフィスまでは歩いて7～8分の山根さん。最近、運動不足を痛感して、日曜日はスポーツクラブへ通って泳いだり、食事も健康志向で和食を好むようになってきたとか。



いつも数段上を見ている  
すごい営業力の持ち主  
中島 裕さん(22歳)

山根さんは人当たりがソフトで、ほんわかした雰囲気ですが、副社長でありながら常にトップ営業でもあります。まわりが数百万の仕事をしているときは数千万、数千万の仕事をしているときは数億の契約をとってくるんです。常にみんなより何段階も上を見ているからできるんだと思いますが、当たり前のようにやり遂げるので、その営業力の秘訣がみんなつかぬくて困ってるくらいです。

#### 会社DATA

会社名 ● 株ガイアックス  
事業内容 ● インターネット・コミュニティ・サービスの企画・開発・運営、コミュニティ関連システムの受託開発、データベース関連システム開発  
設立 ● 1999年3月  
資本金 ● 4億7400万円  
売上高 ● 2億円 (2000年5月決算)  
/ 6億2000万円 (見込み・2001年5月決算)  
従業員数 ● 40名  
女性従業員比率 ● 25%  
女性管理職比率 ● 2.5%  
URL ● <http://www.gaiax.com>



ふだんは放任主義だけど  
いざというときは話しやすい  
小林 隆子さん(24歳)

できる上司ってメンバーの管理をしたがるけど、山根さんは放任主義。あまり口をはさまず、気持ちよく仕事をまかせてくれます。でも、いざ何か相談したいときは、すごく話しやすい。この前も、取引先との会議の後は議事録をすぐ作って提出する、打ち合わせの前には議題を広げておく、というような、営業の基本を教えてくれました。



日本人離れした  
大きなスケールの持ち主  
山根 麻貴さん(29歳)

山根さんは僕より年下の上司、でも、感じはまったくありません。とにかく、今まであったことがないくらいスケールの大きい人なんです。会社組織として立ち上げよう、という話が出たときも、「日本でやるの?」ってまず言ってきたくらい(笑)。まだ何も決まっていないうちからスタートの時点でも、専業会社が大きくなるのは当たり前のこととして自然に考えているんです。それが口だけではなくて、会社組織にした直後にはもう大手企業との契約をとってまわっている、稀有な上司です。

#### 山根さんのお仕事ヒストリー

1997年 4月 大学卒業後 情報サービス関連企業に入社

独立支援の社風に入社。大手企業との密着もまかされ、現在の営業力の基礎が培われたがこの時期。

1998年 8月 自ら起業するために1年で会社を退職

在学中から「自分の力でなにかやってみよう」という気持ちで山根さん。会社の組織変更のタイミングで退社を決意。

1998年 12月 Web グリーティングカードサービスを開始

前職で同僚だった上田さん(株株ガイアックス取締役社長)とクリスマスのお正月の需要を見こんで同サービス開始。

1999年 3月 有ガイアックス設立 取締役副社長に

グリーティングカードサービス事業が順調で、会社設立を決定。「プレッシャーよりも楽しみな気持ちがあった」

1999年 5月 会社を株式化 株ガイアックス設立

引き続き取締役副社長に就任。

2000年 5月 海外企業と提携し シンガポールと韓国に進出

山根さんの提案で、シンガポールの現地法人と合弁会社を設立。海外企業とのジョイントベンチャー事業を開始。また8月には韓国企業と日本に拠点を設ける。

## 24歳でネットビジネスを起業。 取締役でありトップ営業ウーマン でもあるスケールの大きな上司

「インターネット上で、人や企業の輪をつなげる場やツールを提供する」ために、山根さんは24歳で株ガイアックスを設立。「その若さで」と言われることも少なくなかった。

しかし、在学中からマーケティングや経営戦略を学んでいた山根さんにとって起業は夢物語ではなかった。海外企業とのジョイントベンチャーで会社を興すというアイデアも、中学から3年間通った香港での経験から自然に生まれたのだと思う。

設立後は会社を順調に成長させ、今年度は昨年の3倍、6億円以上の売上を見込んでいます。しかし、立ち上げ時はトラブル＆エラーの連続で「チャレンジには良い環境だった」というのが、現在は経営をより安定させることが優先課題。「安定した経営状況」と「誰もがやりたいことを実現できる会社」を確立させるには、より強いリーダーシップが求められている。

「設立当初は仲間たちとあうんの呼吸で仕事をしていたので、メンバーを認めることが今も苦手」というのが、「押し付けではなく、社員全員にモチベーションを与えていける上司になりたい」と話す姿勢は前向きだ。

その時々で自分に求められているものを冷静に把握し、結果を出し続けてきた山根さん。彼女の働く姿勢が部下たちのやる気につながっているのだ。